

2015年シヨパン国際ピアノ・コンクール第2位

シャルル・リシャール II アムラン

ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ 第13番 変ホ長調 op.27-1

ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

シヨパン:

演奏会用アレグロ イ長調 op.46

ワルツ 第14番 ホ短調 (遺作)

ワルツ 第3番 イ短調 op.34-2

ワルツ 第4番 ヘ長調 op.34-3 「華麗なるワルツ」

ワルツ 第12番 ヘ短調 op.70-2

ワルツ 第6番 変ニ長調 op.64-1 「小犬のワルツ」

ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2

ワルツ 第8番 変イ長調 op.64-3

ワルツ 第5番 変イ長調 op.42

ベートーヴェン

& シヨパン

完売必至!!

アムラン、ザ・シンフォニーホールに再び!!

2024 9.16 (月・祝) 14:00 開演 (13:00 開場)

ザ・シンフォニーホール

全席指定 6,000円 (税込) 主催: ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonihall.jp>

プレイガイド

■ E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonihall> (パソコン・携帯) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonihall> [Lコード: 53383]

■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonihall/> [Pコード: 262-775]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

Charles Richard-Hamelin

2015年ショパン国際ピアノ・コンクール第2位

シャルル・リシャール＝アムラン

ピアノ・リサイタル

2022年12月11日にザ・シンフォニーホールで開催された超満員の
シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタルの様子

ベートーヴェン & ショパン

2015年、第17回ショパン国際ピアノコンクールで第2位（併せてソナタ賞）に輝いて一躍注目を集め、温かな抒情あふれる音楽で世界中の聴衆を魅了し続けているカナダ出身のピアニスト、シャルル・リシャール＝アムランが、約2年ぶりにザ・シンフォニーホールのステージに登場する。

今回のプログラムの前半では、ベートーヴェンの作品27の「幻想曲風ソナタ」と題された2曲を取り上げる。2曲目の第14番は、「月光ソナタ」の愛称で知られているが、いずれも30歳のベートーヴェンが伝統的な古典派ソナタからロマン的な表現に向かう時期に書かれた意欲的な作品。アムランは作曲家の心情に寄り添い、即興的なインスピレーションに満ちた曲想を、精緻なピアノイズムで味わい深く聴かせてくれることだろう。

後半は、ショパン・プログラム。若き日の協奏曲第3番への着想から生まれた華やかな「演奏会用アレグロ」で始まり、ワルツ集の抜粋が繰り広げられる。ショパンの死後に発表された陰影に満ちた遺作の第14番、第4番「華麗なるワルツ」、第6番「小犬のワルツ」、第5番の「グランド・ワルツ」など、8曲のワルツの魅力が、色彩豊かな音色としなやかなリズム感でみずみずしく描き出されるに違いない。

聴く人の心を優しく包み込みこむようなアムランの音楽に身をゆだねるひとときとなることだろう。

文・森岡 葉

シャルル・リシャール＝アムラン [ピアノ]

Charles Richard-Hamelin

音楽の流れを自然に美しく紡ぎ上げ、繊細な感情表現で聴衆を魅了し、世界中で活躍しているカナダが誇る若きピアニスト。

2015年に行われたショパン国際ピアノ・コンクールで第2位とクリスチャン・ツィメルマン賞（ベスト・ソナタ賞）を受賞し、同世代の中でも最も重要なピアニストと注目されている。

プラハの春音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭（フランス）、ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭（ワルシャワ）などの様々な有名音楽祭に出演。ソリストとしても、カナダをはじめ、欧米の主要なオーケストラと協演している。

ケベック州ラナウディエル生まれ。P.サルドゥレスク、S.ライモン、B.ベルマン、A.ラプラントに師事。

2011年マギル大学を卒業、2013年にはイエール大学から修士号が贈られた。

2016年にモントリオール音楽院を修了。ピアニストのJ.サウルニエとともに後進の指導にあたっている。

カナダのアナレクタ・レーベルからリリースされている12枚のCDは、いずれも高く評価されている。日本へは2016年5月のリサイタル・デビューで大成功を収め、一躍人気ピアニストとなり、すでに7度の来日を果たし、その演奏は毎回絶賛されている。